

平成29年度

羽島郡二町教育委員会 点検評価委員会



シンポジウム



最終日に両町長に提言をしました



講義



飛騨世界・生活文化センター 六角 裕治氏

文部科学省 古屋 圭織氏



交流・実習



河合町歌舞伎保存会との交流

白川郷で外国の方と英会話実習

平成30年2月7日

岐南町役場会議室

平成29年度 羽島郡二町教育委員会 点検評価報告書

目 次

羽島郡二町教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）の 教育指針「方針と重点」	P 1
基本目標 1 グローバル・少子高齢化社会の中で、「自らの意志をもち、 生き抜くことができる力」の育成	P 2
基本目標 2 未来の飛躍を実現するために、変化や新たな価値を創造 することができる力の育成	P 3
基本目標 3 活力ある地域コミュニティを構築するためのスポーツ・ 文化活動の充実	P 4
基本目標 4 学びや育ちを支えるセーフティネットの構築・充実	P 5
目標を実現するための教育委員会機能の充実	P 6・P 7
(資料) 点検評価実施要領・実施細則	P 8・P 9
平成29年度「羽島郡二町教育委員会点検評価委員」	P 10

平成29年度 羽島郡二町教育委員会 教育指針「方針と重点」

様々ななかかわりの中で学び、夢や希望に挑戦し、地域社会の一員として貢献できる社会人の育成 ～家庭や地域の信頼に応え、夢と希望を育む感動のある学校づくり～					評価内容 評価…4段階（A:75%～ B:74%～60% C:40%～59% D:～39%）			
No	基本目標	施策	重点内容	評価内容（教師用）	評価	児童生徒用評価内容	評価	改善の手立て
目標1	グローバル・少子高齢化社会の中で、自ら意思をもち生き抜く力の育成	①児童生徒の学びを保障する指導の充実	イ:課題解決に生きる“学び合い”の時間の設定	<input type="checkbox"/> 単元(題材)、単位時間ごとに、課題解決の場で“学び合う場”を設定し、お互いに考えを広げ、深めるように指導している。		<input type="checkbox"/> ペアやグループ等で交流したことで、課題を解決したり授業の理解を深めたりしていますか。		
			オ:学力・学習状況調査の分析と活用	<input type="checkbox"/> 分析結果から、調査実施学年だけでなく、該当学年において、問題に挑戦したり正答率が十分でない内容を学び直しの時間として設定したりして習熟を図っている。		<input type="checkbox"/> テストやプリントで間違えた部分をもう一度確かめ、正しい答えや考え方を導き出していますか。		
		②豊かな心の醸成	イ:全教育活動を通じた道徳的実践力の育成	<input type="checkbox"/> 各校の重点目標を踏まえて、道徳の授業と学校行事、各教科との関連が分かる年間指導計画を位置付け、その活用を図っている。	<input type="checkbox"/> 道徳の授業で学んだことをもとに、自分の生活や地域の活動に生かそうとしていますか。			
		③運動に親しみ、進んで健康安全に取り組む指導	ア:継続して取り組む運動の機会の充実	<input type="checkbox"/> 「チャレンジスポーツinぎふ」「認定ミナモ」部活動等、各活動に具体的な目標をもたせ、朝の時間、業間休み等で継続的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 朝の活動や休み時間、部活動等を活用して、“チャレンジスポーツinぎふ”、大縄跳び等に取り組むなど、運動するように心がけていますか。			
		④国際理解教育の推進	ア:小学校の担任による英語活動の実践 イ:All Englishによる授業の実践	<input type="checkbox"/> 児童が興味関心をもって進んでコミュニケーションを図ろうとする活動になっている。 <input type="checkbox"/> 年度末を見据えて、学校の実態を踏まえたAll Englishの授業になっている。	<input type="checkbox"/> 外国語活動では、英語を使って仲間と楽しく交流していますか。 <input type="checkbox"/> 英語の授業では、ほぼ英語だけで学習しようと努めていますか。			
⑤特別支援教育の充実	ウ:全校体制で行う特別支援教育の充実	<input type="checkbox"/> 全職員が、支援が必要な児童生徒の個別の支援計画を作成し、配慮が必要な児童生徒に対しては、配慮事項を明らかにし、保護者とともに支援を計画的に行っている。						
目標2	未来の飛躍を実現するために、変化や新たな価値を創造することができる力の育成	①キャリア教育・立志教育の推進	ウ:児童会・生徒会役員等、リーダーの願いを聞き、実現につなぐ指導	<input type="checkbox"/> 児童会等、リーダーの願いを学校内で共有する場を位置付け、学級・学年・学校での実現に向けて支援している。 <input type="checkbox"/> 生徒会等、リーダーの願いを学校内だけでなく地域とも共有し、学校・地域での実現に向けて支援している。				
		②望ましい集団活動を通じた活動の充実	イ:集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築くための話し合い活動の充実	<input type="checkbox"/> 学校・学級の実態をもとに、学校生活の充実と向上を図るために、児童生徒が話し合い活動を計画的に行い、自分たちで決めたことを実行している。	<input type="checkbox"/> リーダー(係・班長も含む)として、仲間の思いを聞いたり、仲間に自分の願いを語ったりしていますか。			
		③各学校の特色ある活動の推進	イ:学校の自慢の活動の充実	<input type="checkbox"/> 全校体制・学年体制での取組を積み上げていく中で、「自他共に認める宝物」といえるまで、常に願いと活動をつなげて評価している。	<input type="checkbox"/> 学校の自慢の活動が、本当の自慢になるよう、自分から進んで取り組んでいますか。			
		④自己指導能力を高める生徒指導の充実	ウ:自己決定した目標に向かい、粘り強く取り組む活動の実施及び支援	<input type="checkbox"/> 仲間とかかわり合い、目標に向けて粘り強く取り組む活動を意図的に設定し、この変容を見届けている。	<input type="checkbox"/> よりよい学級、学校になるように、願いをもち、仲間と共に取り組んでいますか。			
		⑤いじめ・不登校防止や解決のための指導の充実	ウ:いじめ・不登校の早期発見と組織を生かした対処	<input type="checkbox"/> hyper-QUや心のアンケート等を通して、児童生徒の一人一人の状況を確実に把握し、意図的な学級等での取組により、居場所づくりや絆づくりに努めている。 <input type="checkbox"/> 前年度までの様子、早期の教育相談の機会を設け、全職員で未然防止のための具体的な手立てを講じている。				児童会や生徒会で「いじめ」に取り組んでいる内容があれば、各校で位置付ける。
目標3	活力ある地域コミュニティを構築するためのスポーツ・文化活動の充実	②年齢を縦に繋いだ地域の教育力の向上	エ:地域で子どもの学びを支援する世代を超えた交流活動の充実	<input type="checkbox"/> 地域と共にある学校づくりを推進し、ボランティアの方が学びを支援したり児童生徒が地域で学ぶ機会に進んで参加できるよう働きかけを行ったりしている。		<input type="checkbox"/> 地域の様々な行事に進んで参加していますか。		
		③家庭の教育力の向上	ア:ボランティア手帳の活用と一家庭一ボランティア実践	<input type="checkbox"/> ボランティア手帳を活用して、学校や地域のボランティア活動に参加するよう児童生徒に働きかけている。		<input type="checkbox"/> 学校内や地域のボランティアに進んで参加していますか。		
		⑥豊かな心をはぐくむ教育の推進	イ:今日的な人権課題に基づいた人権教育の推進	<input type="checkbox"/> 児童生徒に寄り添い、適切な言動で指導・援助している。		<input type="checkbox"/> 学校や家庭、地域の生活で、“あったか言葉”で話していますか。		
目標4	学びや育ちを支えるセーフティネットの構築・充実	①健康な体づくりの推進	ウ:食物アレルギーをもつ児童生徒への把握と保護者との連携	<input type="checkbox"/> アンケート調査、指導管理票等をもとにして、該当児童生徒と保護者尾の面談を行い、全職員が一人一人の状況の共通理解を図り、確実に対応している。				
		②学校防災体制の充実	イ:危険を自ら回避して命を守る力を育てる防災教育の充実	<input type="checkbox"/> 日常の学習活動においても、「防災まちづくり・くにつくり」や防災マップ等の活用を通して、防災教育の観点から具体的に指導を行っている。		<input type="checkbox"/> 登下校時の地震等の対応について理解し、安全に通学できていますか。		
		③「自分の命は自分で守る」意識の高揚	イ:自転車安全利用の推進等、交通安全指導の実施	<input type="checkbox"/> 朝の会、学級活動、集会などで、校区内での危険箇所を周知するとともに、ドライバーとアイコンタクトをする等、具体的な安全確保のための方法について指導している。		<input type="checkbox"/> 自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶり、飛び出しをしないように気を付けていますか。(アイコンタクト)		
		④学校施設設備の整備	イ:学校安全点検の実施と確実な修理	<input type="checkbox"/> 「防火シャッター」等、普段あまり使わない設備も含め、危険箇所等の状況を把握するとともに、迅速かつ確実に対応している。		<input type="checkbox"/> 校舎内外の施設、遊具等、安全に正しく使っていますか。		
		⑤情報活用能力の育成	ウ:ICT及びデジタル教材の効果的な活用	<input type="checkbox"/> 書画カメラ、電子黒板、タブレット等、ICTを積極的に活用し、児童生徒が分かる授業を行い、年間指導計画にICTの活用を位置付けている。		<input type="checkbox"/> 授業で書画カメラやパソコン等を積極的に使い、授業内容がよく理解できていますか。		

羽島郡二町 教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）

目標4 学びや育ちを支えるセイフティネットの構築・充実

基本目標	重点施策	評価	今年度の成果と次年度への方向	評価者の意見
○健康な体づくりの推進	ウ)食物アレルギーをもつ児童生徒の把握と保護者との連携	A	<p>□「学校生活管理指導表」をもとに、保護者と管理職、担任、養護教諭、栄養教諭で面談を実施し、児童生徒の状況把握、学校及び給食での対応等について確認し、情報を共有する。(全職員に周知)</p> <p>□夏季研修会において、アレルギー専門医の研修を受け、食物アレルギーをもつ児童生徒への対応について理解を深めることができた。</p> <p>■来年度は両町のセンターでアレルギー対応食を実施することになる。安心、安全に子どものもとに給食を提供できるようセンターと学校、保護者と共通理解し、より連携を図りながら、丁寧に対応する。</p>	
○学校防災体制の充実	イ)危険を自ら回避して、命を守る力を育てる防災教育の充実	A	<p>□学校ごとに「学校安全計画・防災計画」が整備され、異なる場面を想定した実効性のある「命を守る訓練」が年3回以上、意図的・計画的に実施された。自分の命を守るために必要な判断力や適切な行動が児童生徒及び職員に身に付いてきている。</p> <p>■避難する訓練を行うだけでなく、DIG等の学習活動を積極的に取り入れ、災害が起こる前に日常生活の中で危険箇所を「見立てる」防災意識を高める。(DIG:岐南中、笠松小、松枝小、夏季研:岐阜大学・村岡特任准教授)</p>	
○「自分の命は自分で守る」意識の高揚	イ)自転車安全利用の推進等、交通安全指導の実施	A	<p>□関係機関や保護者と連携して、交通安全教室や自転車点検を行ったり、事故についての指導を全校や学級など実態に応じて行ったりした。</p> <p>■「ドライバーとアイコンタクト」を再度徹底して、安全意識を高めることと同時に、事故があった場合の対応についての指導を徹底する。※H30自転車損害賠償保険加入を自転車通学、部活動における自転車使用の許可条件とする。</p>	・自転車損害賠償保険加入については、子どものために必要であり、ぜひ進めて欲しい。
○学校施設・設備の整備	イ)学校安全点検の実施と確実な修理	A	<p>□学校施設点検は、定期的に手で触って施設の固定や施錠を確実にやっている。</p> <p>□長期休業中に専門の講師を招いて職員研修を行い、校内の危険箇所を安全に整備することができた。</p> <p>■関係機関と連携して、安全な学校施設・設備の整備を進める。</p>	
○情報活用能力の育成	ウ)ICT及びデジタル教材の効果的な活用	A	<p>□羽島郡ICT推進委員会を核としながら、ICT機器及びデジタル教材を積極的に活用した授業実践を行った。全小中学校で公開授業を実施し、講師を岐阜大学から招き、最新の実践方法や今後のプログラミング教育について学んだ。※総務省:小学校プログラミング教育キャラバン、夏季研:小学校プログラミング教育(県教委)</p> <p>■すべての担任、授業者が、ICT機器及びデジタル教材を用いた授業ができるよう、情報交流・共有を行う。</p>	・ICTの活用や小学校におけるプログラミング等、先進的に進められていて素晴らしいので、今後も継続して欲しい。

羽島郡二町 教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）

目標を実現するための教育委員会機能の充実

基本目標	重点施策	評価	今年度の振り返りと次年度への方向	評価者の意見
①教職員の資質向上への取組み	ア)2学期制を生かした個人懇談の活用による資質向上への取組み	A	<input type="checkbox"/> 夏季休業前後に位置付けた「個人懇談会」では、ポートフォリオ等を活用して自分の成長や頑張りを自分の言葉で保護者に話すことができるように教育委員会で学校訪問(各学校年2回)を始め校長会・教頭会等で説明・指導をした。 <input checked="" type="checkbox"/> 東小学校の三者懇談(目標から発表まで)が中京テレビのキャッチ番組で紹介され、他校も活動のイメージと見届ける指導が必要。	
②教育委員会機能の強化	ア)教育委員会会議の充実	B	<input type="checkbox"/> 教育委員会定例会議は年10回開催され、教育委員会の職務権限に属する次の60の案件を審議した。 ① 教育委員会規則等法令の制定及び改廃…12件 ② 教育行政関係各種委員の委嘱について…19件 ③ 教職員等人事異動、承認に関する事…2件 ④ 教育(功労者11名、SES6名)表彰に関する事…17名 ⑤ 教育委員会予算、決算に関する事…2件 ⑥ 教科書採択に関する事…3件 ⑦ 教育委員会年間計画(案)について…1件 ⑧ 教育委員会点検評価報告について…1件 ⑨ 方針と重点…1件 ⑩ 教育長職務代理者の指名について…1件 ⑪ 郡の教育の進捗について…1件 <input type="checkbox"/> 全ての案件を慎重審議し、円滑な教育行政の運営に資することができた。 <input type="checkbox"/> 総合教育会議の開催は年1回だが、毎月、教育長が両町長へ地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図る為重点的に講ずべき施策等の打合せを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 新教育委員会制度に伴い、これまでの委員会の運営を見直し、より有効に当制度が活用されるよう取り組む必要がある。	
	イ)教育委員研修の充実	A	1. 教育委員県外視察研修について 毎年、岐南町・笠松町の教育の充実に資することを願いに、勉強会を実施しています。今日的な教育課題を学ぶ。 <input type="checkbox"/> 目的 笠松町では、「笠松町未来会館」を建設して未来に羽ばたく人材を育てようと科学の分野の展示や光製作所の製造部品が、スーパーカミオカンデで使われている。大型低温重力波観測研究施設「KAGRA」研修とした。 訪問先 飛騨市神岡 <input checked="" type="checkbox"/> 二町の教育の指針や糸口、あるいは具体的な施策の参考となるような視察内容や視察地について今後も検討していきたい。 2. 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会について <input type="checkbox"/> 教育委員及び事務局職員が参加し、教育委員の自己研修の場とし、県下の教育委員会の優れた実践活動を交流し、今後の教育行政について研修を深めた。平成29年11月10日(金)飛騨市文化センターで開催 3. 定例会の議案審議終了後に毎回課題についての研修を開催し、子どもの成長の様子や学校運営上の課題、施策に係る諸研修等、多岐に亘った。 4. その他の研修(教育委員の直接参加行事)について <input type="checkbox"/> 教育委員会が負担したり、自主参加したりして、二町の教育行政の進捗状況の把握に努める。 <input type="checkbox"/> 学校行事や町行事に参加し、委員自身の研鑽につながった。 <input checked="" type="checkbox"/> 参加して感じた問題点などを教育行政の改善に資する必要がある。	
	ウ)学校の定期的な参観と懇談の実施	A	1. 学校訪問及び施設訪問について <input type="checkbox"/> 教育委員と事務局職員が合同で施設及び郡内各小中学校を訪問し、授業の様子を参観するとともに、教職員との懇談会を実施するなど広く意見交換をする。 <input type="checkbox"/> 学校の経営方針、子どもの様子など、現場の様子を効果的に把握できた。6月に岐南中学校で実施し、その他の行事にも参加することによって、年間を通して継続的に学校の実態をつかむことができた。 <input type="checkbox"/> 各学校の経営方針・特色を生かした教育などを、より充実できるような指導アドバイスのあり方について工夫していく。 <input type="checkbox"/> 実践公表会 3校(笠松中学校・東小学校・笠松小学校) 11月14日(火)に笠松町立笠松中学校の研究主題「学び合いを通して、確かな学力を身に付ける生徒の育成」をすることで、本校生徒が今まで以上に生き生きと主体的な学びをし、自己肯定感、自己有用感をもち、将来の夢に向かって学校生活を送ることができる。 11月17日(金)に岐南町立東小学校の研究主題「仲間と共に進んだ数理を追究する子の育成」をすることで、子どもたちの学力を高めるための授業改善に取り組んでいる。算数を公表した。 12月1日(木)に笠松町立笠松小学校の研究主題「自己を見つめ、自らよりよい生き方を求め、実践する子を育む道徳教育」とし、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める発問や学習活動についての実践に取り組み、方向性を明らかにする営みを続けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校経営の自信や課題をできるよう訪問事業を推進していく必要がある。	

羽島郡二町 教育振興基本計画（平成26年度～平成30年度）

目標を実現するための教育委員会機能の充実

基本目標	重点施策	評価	今年度の振り返りと次年度への方向	評価者の意見
③教育功労者の発掘と顕彰	ア)SESの表彰と活用	A	<p>目的：地道な努力を重ねて、学校教育の推進に顕著な功績を挙げている羽島郡の優秀な教職員を優秀な教育の専門家(SES)として認証し、表彰することによって、教職員の資質向上や実践意欲の高揚を図り、各学校の活性化に資する。</p> <p>表彰：羽島郡二町教育委員会の所管に属する学校の教頭、主幹教諭、養護教諭、栄養教諭、講師、学校栄養職員並びに事務職員で、日頃の職務その他教育に関する実践活動が当該学校の教育に向上に貢献し、他の教職員の模範として推奨することができる者。</p> <p>表彰者：6名（北小学校教諭1名・笠松小学校教諭1名・松枝小学校教諭1名・岐南中学校教諭3名）</p> <p><input type="checkbox"/> 夏季講座の講師として、実践を郡内の教職員に紹介し資質向上を図ることができた。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 若い教職員が多く、スペシャリストの実施研修の事業提供し、新たな優秀な人材育成を推進していく必要があり、今後も人材発掘を進めていく。</p>	
	イ)教育功労者の発掘	A	<p>○表彰：多年、委員会事務局及び委員会の所管に属する学校又は教育機関に勤務して成績優秀者。学校教育、社会教育及び保健体育の振興発展に貢献した顕著者(個人・団体)の表彰を行った。二町の教育向上への意欲につなげる。</p> <p>《取扱い要項》</p> <p>第2条 20年以上郡内の小中学校及び教育委員会に勤務して成績優秀者</p> <p>第3条 社会教育関係委員として15年以上尽力し、社会教育の振興発展に貢献した者 社会教育関係団体長として10年以上尽力し、社会教育の振興発展に貢献した者 社会教育(含むスポーツ)の指導者として15年以上後進の指導者育成に努め、その功績が顕著な者 文学、美術、音楽、演劇、舞踊、茶華道等の実績が顕著な者又は、郷土芸能保存、普及、文化財の保護に功績が顕著な者 社会教育団体として、設立以来10年以上にわたって活発に活動し、功績が顕著な団体</p> <p><input type="checkbox"/> 表彰者：第2条＝7名（西小学校校長・西小学校教諭3名・東小学校教諭1名・松枝小学校教諭2名・岐南中学校教諭1名） 第3条＝1団体・3名（団体1団体。社会教育委員1名・スポーツ少年団指導者2名）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地道に取り組んでいる方にも推薦していただくよう呼びかける。</p>	

羽島郡二町教育委員会点検評価実施要領

羽島郡二町教育委員会

(目的)

第1条 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づく羽島郡二町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行い、羽島郡二町の教育の推進体制を一層充実させ、教育水準の向上を図り、もって町民の期待に応えるために必要な事項を定めることを目的とする。

(点検評価の実施及び体制)

第2条 教育委員会は、当年度の教育委員会の事務について、点検評価を行う。
2 教育委員会は、前項の点検評価を適正なものとするため、外部の学識経験者等によって構成する評価委員会の意見を聴かなければならない。

(評価事項)

第3条 教育委員会は、当年度の教育委員会の事務について、次の各号に掲げる内容の点検評価を実施する。
一 教育委員会の活動状況 教育委員会会議の実施状況、調査活動の状況等
二 事務事業の執行状況 教育委員会の基本方針に掲げる主要施策の執行状況及びその成果
三 前年度の点検評価結果への対応状況 前年度の点検評価結果において次項による達成度の評価がCまたはDとされた事務事業に対する対応の状況
2 前項の点検評価においては、次の4区分により達成度の評価を行う。
A 順調に達成しているもの
B おおむね順調に達成しているもの
C 達成見込みであるが課題があるもの
D 順調でないもの

(点検評価の手順)

第4条 点検評価を実施するに当たっては、教育委員会事務局各課がその所管する事務事業等について第一次評価を行う。
2 教育委員会は、第一次評価の結果を基に、第2条第2項に規定する評価委員会の意見を聴いたうえで、教育委員会会議において最終評価を行う。
3 教育委員会は、前項の評価結果を報告書にまとめ、議会に提出する。
4 教育委員会は、前項の報告書を教育委員会のホームページに掲載し公表する。

(庶務)

第5条 点検評価の庶務は、教育委員会総務課において行う。

(委任)

第6条 この要領に定めるもののほか、この要領を実施するために必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

1 この要領は、平成20年12月1日から施行する。

附 則

1 この要領は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この要領は、平成27年4月1日から施行する。

羽島郡二町教育委員会点検評価実施細則

羽島郡二町教育委員会

(目的)

第1条 この規則は、羽島郡二町教育委員会点検評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づく点検評価を実施するために必要な事項を定めることを目的とする。

(羽島郡二町教育委員会点検評価委員会の設置)

第2条 実施要領第2条第2項に定める外部の学識経験者によって構成する評価委員会の名称は、「羽島郡二町教育委員会点検評価委員会」（以下「評価委員会」という。）とする。

- 2 評価委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。
 - (1) 教育学その他教育行政に関する専門知識を有する者
 - (2) 学校関係者
 - (3) 保護者
 - (4) 民間における企業体、団体等の関係者
 - (5) その他教育長が適当と認める者
- 3 評価委員会は、委員6名以内で組織する。
- 4 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員の再任は妨げない。

(評価委員会の運営)

第3条 評価委員会に委員長を置き、委員の互選により決める。

- 2 委員長は、会務を整理し、評価委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。
- 4 評価委員会は、委員長が招集し、その会議の議長を務める。

(評価様式)

第4条 実施要領第3条第1項各号に定める点検評価は、別記様式により行う。

(点検評価の取り扱い)

第5条 実施要領第4条第3項に定める報告書の議会への提出は、3月定例議会において行う。

(庶務)

第6条 この細則の実施にかかる庶務は、教育委員会総務課が行う。

附 則

- 1 この細則は、平成20年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。

平成29年度「羽島郡二町教育委員会点検評価委員」

(敬称略)

	氏名	備考
1	古澤 哲男	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細則第2条第2項1号委員 (教育学その他教育行政に関する専門知識を有する者) ・ 元県教委学校支援課長、岐聖学大非常勤講師
2	堀 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細則第2条第2項2号委員 (学校関係者) ・ 羽島郡小中学校長会長 ・ 笠松町立松枝小学校長
3	岩村 雅人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細則第2条第2項3号委員 (保護者) ・ 羽島郡子ども会育成協議会顧問 ・ 岐阜地区子ども会育成協議会本部役員
4	山田 晃三	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細則第2条第2項4号委員 (民間における企業体、団体等の関係者) ・ 岐阜県青少年育成推進指導員
5	遠山 健二	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細則第2条第2項5号委員 (その他教育長が適当と認める者) ・ 岐阜教育事務所 教育支援課 学校・地域連携係 課長補佐

(任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日)

教育委員会事務局

- | | |
|-----------|-------|
| ① 教育長 | 宮脇 恭顯 |
| ② 管理兼総務課長 | 松原 和成 |
| ③ 学校教育課長 | 伊藤 直輝 |
| ④ 社会教育課長 | 平山 義浩 |